

例会報告 Rotary



2022-2023年度
RIテーマ

第2697回例会
令和5年3月3日

●例会日 毎週金曜日 12:30~13:30 ●会長 垣内 秀文
●例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988 ●幹事 大村 貴之
大垣共立銀行高山支店 4F ●会報委員長 中島 一成

イマジン
ロータリー

お祝い・
義務教育9カ年皆出席表彰

＜会長の時間＞今年度は9カ年皆出席表彰の賞状と記念品を市内12校中、表彰対象者を擁する9校の校長先生に直接お渡ししていただくようお願いしており、既にお渡し済みで有る所ですが、門前さん担当の日枝中学校は卒業式前日に全生徒の前で16名の生徒に直接贈呈されるようで光栄な事です。生徒達に満面の笑みでお声を掛けて頂きたいと思ひます。



事業立ち上げ時から16回目までは対象者を例会当日会場に招き授与していました、合併後17回目より28回目まで校長会へまとめてお届けするようになりました。翌29回目には各中学校修了式に出向し、会員が生徒に直接授与する事になり、次年度も...のはずでしたが新型コロナ感染拡大に伴い、修了式授与を取り止め各校に届ける形で今日に至っています。私は東山中の同級生の保木斉校長、丹生川中の中学後輩の牛丸千恵校長と、最近の学校教育状況についてお話しする事ができました。お二人ともお互い知中ですので、本音と取れるお話だと思ひます。



まとめると体調が悪い、精神的にも辛い事は大人にもある。無理をすると体も心も壊れてしまう。ただ大人になると上手く休みをとれますが、子どもは休み方や学校からの離れ方がわからないことがある、皆勤賞はあってもいいと思う。9カ年皆出席は素晴らしいです、頑張ってお出された証ですから、ただ必要な時には学校を休む事の大切さも、大人がきちんと教えて欲しい。制度の有無ではなく、必要なら休むというメッセージをきちんと出してあげる、それが一番大事だと思いますと等々...と申されていたような気がします。最後に次年度も9カ年出席表彰をやっても良いですか?の問いにはお二方とも是非よろしく願ひしますと力強くお返事頂きました。

2月26日の日曜日に高山西ロータリー杯争奪ソフトミニバレー大会が開催されました、当日は15チームの参加でピーク時の67チームと比べると少々寂しいものでした。人口減少、趣味の多様化等、様々な要因も有り、更に新型コロナウイルス感染拡大がそれに追い打ちをかける状況であったといえます。



西RC杯は2019年度が8月に開催して2月はコロナで中止、2020年度は2回開催を1回に縮小して8月に開催、2021年度は中止でしたので、実に2年ぶりの開催でした。もう皆様ご周知の事ですが、今大会をもちまして36年継続事業としてロータリー杯の冠を残念ではありますが下げさせて頂く事となりました。

当日は私と大村幹事、杉山社会福祉委員長3人で出席予定でしたが、当大会に並々ならぬ思い入れがある狹土貞吉さん、田中武さん、門前庄次郎さんにサプライズで駆けつけて頂き、歴代会長として紹介されました。我がクラブの面目が保たれて、最後良い形で終わる事が出来た事は良かったと思っています、心から感謝申し上げます。この事業はCLPディスカッションで色々ご意見を頂戴しました。役目は果たしたそろそろ手を引いても良いじゃないか、大先輩から続いている大事な事業だから継続すべきなど、様々な思いがある中で、少々強引な形で申し訳ありませんが何とかご理解を頂きたいと思ひます。

私も入会して3~4年位は選手として参加していましたが、そもそもソフトミニバレーはルールが少し複雑であり、お互いに3回目にネットを越えて相手コートへ返さなければならぬ。ブロックは良いが一回で返してはいけぬ等々...皆さんが慣れ親しむバレーボールのルールと少々異なっています。おまけにジャンプをしての攻撃スパイクは反則なので少しストレスになったりもしていました。しかしボールは軽く柔らかいので、球技に不慣れな人でも恐怖心を抱かず気軽に参加でき、ボールのスピードが比較的遅いため、ラリーが続きやすく適度な運動量を得る事が、できるスポーツで全国大会も開催されています。

我がクラブでもチームはぐるまとして大会に出場し、このチームなら勝てるかもしれないと思つたお姉さん達にも卓越したチームプレイに屈し毎回苦渋を味わう結果が続いていましたが、2019年の第71回大会の交流戦で勝利、続く第72回で遂に悲願の決勝リーグ進出を果たしましたが、何度か怪我が出た影響もあり、選手としての参加出場を自粛していた状況でありました。

今大会にも元西クラブメンバー松林さんが山王フラワーズに所属して張り切っていましたし、下屋さんも夜会のみメンバーということで、完全に縁は切れていないですし、今後何らかの機会にまた一緒に単年度事業として企画するのも個人的には有りだと思っています。次年度、次々年度に向けて我がクラブの身の丈に合った事を改めて検討していきましょう。



2022-2023年度
高山西ロータリークラブ テーマ

未来を見据え
更に親睦を深め、皆でクラブを再活性化しよう

例会報告

＜幹事報告＞

◎ガバナー・ガバナーエレクトより

・国際ロータリー第2630地区2023年地区研修協議会開催のご通知

日 時 4月15日(土) 点鐘13:00 終了16:55
会 場 パロー文化ホール(多治見市文化会館)
出席義務者 会長、次期幹事、次期会計、次期各部門長、次期ローター情報委員長、次期職業奉仕委員長、次期雑誌広報委員長、次期会員増強委員長、次期社会奉仕委員長、次期国際奉仕委員長、次期青少年奉仕委員長、次期ローター財団委員長、次期米山奨学委員長、(2020.3.1以降入会)の 新会員

◎濃飛グループ次期ガバナー補佐より

・濃飛グループIM・6クラブ合同公式訪問の開催について

日 程 10月14日(土) 午前10時より

会 場 シティホテル美濃加茂

◎高山市教育委員会事務局より

・令和4年度高山市キャリア教育でまえ講座報告書

◎RI会長杯ワールドゴルフ大会日本事務局より

・RI会長杯ワールドゴルフ大会のご案内

日程・会場 5月5日(金・祝)～16日(火)の期間中の都合の良い日時・会場にて

参加資格 ローター会員、家族、友人

参加登録 シンボリック・ティーオフへGoogleformから

チャリティー 1名最低\$50をポリオ撲滅寄付金としてローター財団へ寄付

賞品授与 5月20日19:00(インド標準時) ZOOMコール、Facebookライブ等にて

※参加予定者は4月21日(金)までに事務局へ

＜例会変更＞

高山中央 … 3月20日(月)は、高山3RCポリオ募金例会のため19日(日)11:00～高山陣屋前広場へ変更

＜受贈誌＞

下呂RC(会報)、国際ロータリー日本事務局(財団室NEWS、水と衛生月間リソース)、(社)高山市文化協会(広報高山の文化No242、高山メセナメイト会報No.78)、(財)比国英会バギオ基金(バギオだよりVol.95)

＜出席報告＞

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
30名	—	30名	36名	83.33%

＜本日のプログラム＞ お祝い

◎会員誕生日 堀 幸一郎 3. 4(当日欠席)

◎夫人誕生日 中島 一成 光子さん 3. 4

◎結婚記念日 阪下 六代 3. 9

◎出席表彰

挾土 貞吉 37年
中島 一成 1年



◎在籍周年記念表彰



挾土 貞吉、折茂 謙一、田中 晶洋
40年 25年 10年

◎3ヶ月表彰

・内田 幸洋 ・斎藤 章 ・阪下 六代 ・中島 一成
・挾土 貞吉 ・平 義孝 ・門前次次郎

義務教育9カ年皆出席表彰

委員長 井口 大輔

本日は青少年奉仕委員会事業として33年目となります、義務教育9カ年皆出席表彰のご報告です。

該当生徒数が16名と最も多かった日枝中学校については、7日の修了式場で担当の門前さんから生徒さんへ直接授与出来る運びとなりました。また昨日、宮中においても下屋さんより生徒さんへ直接授与いただきました。

その他の7校についてはコロナ禍という事もあり、会員からの直接授与は出来ず、会員皆様にご協力いただき該当の各中学校へ表彰状と副賞を届けて頂き、各中学校において修了式等の場で校長先生より代理授与していただきます。

ちなみに、東山中と丹生川中には垣内会長、清見中・荘川中に大村幹事、中山中 塚本さん、松倉中 平さん斎藤さん、国府中 鴻野さん、以上6名の皆様に届けて頂きました。ご協力ありがとうございました。

本年度は市内12校中9校43名の生徒さんが皆出席を達成されました。ここで名前を読み上げます。(敬称略)

清見中学校 3名 … 大林 愛歩、國政 留愛、山下 紗世

国府中学校 5名 … 青柳 涼太、棚田 勘太、徳井 彩乃、畑中 美嬉、船坂 真夢

荘川中学校 2名 … 荒川 琥珀、大澤 日和

中山中学校 6名 … 石原 惺海、中屋 蘭、東 空嶺、直井 莓香、村杉 欣哉、和田 花楽

丹生川中学校 2名 … 井上 きらら、中畑 恵未里

日枝中学校 16名 … 岡本 千紗葵、鴻巣 奏葉、阪上 芹名、谷口 綾音、清水 咲彩、瀧根 悠登、中田 結楽、中西 彩月、野首 ころこ、吉本 和崙、浅尾 拓泉、木下 寧音、栃本 そら、内木 佑香、平野 夢源、西尾 美蘭

東山中学校 2名 … 柿下 隼人、伊藤 聡琉

松倉中学校 6名 … 新名 愛子、小林 煌輝、清水 希実、橋本 しずく、小林 悠輝、山脇 瑠佳

宮中学校 1名 … 横山 智也

例年ですとこの場で、先生に代理授与とさせていただいておりますが、今年は先程ご説明しました通り、既に各校へ表彰状を届けておりますので、例会での授与については執り行いませんのでご了承ください。

例会報告

では本日も講話をいただきます、高山市小中学校校長会 中学代表朝日中学校長 中飯田桂山先生をご紹介します。中飯田先生は昭和38年旧朝日村生まれで、小学校卒業まで東京都台東区で育ちになりました。初任の可茂地区の2つの学校を経て、清見小、高根小、市町村合併前後には、県派遣社会教育主事として旧清見村と旧宮村の兼務で2年、新高山市で1年勤務。その後、東小、飛騨子ども相談センター、山王小教頭、栃尾小校長を経て、現職2年目でいらっやいます。では 中飯田先生、よろしくお願いいたします。



高山市小中学校校長会 中学代表朝日中学校長 中飯田 桂山先生

皆さんこんにちは。只今ご紹介に預かりました、朝日中学校の中飯田と申します。よろしくお願いいたします。このような場にお招きいただきまして、このような貴重な経験をさせていただけることにまずもって感謝致します。ありがとうございます。

重ねて市内、中学校9カ年皆出席の表章していただけることに感謝させていただきます。残念ながら朝日中学校では中学校3年間皆勤の生徒がいたんですが、小学校の出席を調べてみると一日休んでいたと言うことで今日表章していただくことが出来なかった事は非常に残念です。

今日は皆さんに一番お伝えできるというのかなといういろいろ考えまして、今、高山市の中学校で進めている土日の部活動の地域移行ということについて、皆さんにご理解頂ければありがたいなと思います。今から使う資料およびお話しする内容は、私が作ったものではなくて、高山市教育委員会がいろいろな場での説明資料ということで作られたものですので、高山市全体を見ていただくのには良いと思います。また広報高山の2月号にも掲載されましたので、ご覧になる方もいらっしゃるかと思います。では令和5年度 高山市の部活動 地域移行について説明をさせていただきます。大きく3つのこととなります。

①部活動地域移行に関わる今までの動きについて②令和5年度からの地域移行について③その他の注意事項等について

まず高山市の中学校の生徒数の推移です。H29年度で2,561人が現在の令和4年度2,369人と減少傾向が続いており、この後5年間で約200人減少、さらに今後10年間で約5,000人減少することが予想されます。このことから、今後も現状と同じように部活動を行っていくことが困難であることは明らかです。そんな中で、昨年度から部活動への加入は任意となり、未加入率は約10.5%でした。今年度5月時点の未加入率は、14.9%(全生徒2,369人中354人)です。3年生と比べて、1・2年生の未加入の割合は高く、任意加入になったことで、生徒一人一人の自由な選択の幅が広がったと考えています。

自校だけではチームを組めず、合同で活動を行っている部は野球や女子バレー等、今年度の中体連で16ありました。市をまたいで、白川郷、神岡などと合同で実施している部も3つありました。このように合同でチームを組んでいる現状があり、新チームになり、さらに増加しているのが現状です。ちなみに中体連では合同チームは県大会に参加できますが、規定内のチームは勝ち進めば全国まで進むことも可能です。今年度も県大会に進んだチームがありました。

完全移行の令和8年度に中学生の年代は、現在の小3～小5の児

童です。また、改革集中期間も含めて関係するのは、現在の中2以下からすべての児童生徒です。高山市の児童や生徒たちのために、子どもたちの居場所となる地域移行の在り方を考えていかなければなりません。

新聞やニュースでご存じかと思いますが、令和4年6月6日に運動部活動の地域移行に関する検討会議の提言が出されました。その提言では、改革の方向性が明確になり、期間も明示されました。文化庁活動についても、令和4年8月9日に 地域移行に関する検討会議の提言が出されました。改革の方向性として、運動部活動から段階的に地域移行していくことを基本とすること、令和5年度から7年度の3年間を改革集中期間とし、8年度に完全移行することが、明確となりました。国から「期限を設けないこととする」という報道もありましたが、県独自の「令和8年度から完全地域移行」という方針を受けて、市では、令和5～7年度を改革推進期間として段階的に地域移行を進め、令和8年度の完全地域移行を目指しています。平日については、今まで通り部活動を行っていきます。

高山市としては、国や県の動向を注視しながら、高山市の子どもたちにとってよい形の地域移行となるように、情報収集や検討会を行い、高山市独自の地域移行を進めています。また、具体的な計画をもとに、改革を進めながら、子どもたちや保護者の方々にきちんと説明をしているところです。そして、中学校に入学してくる子どもたちの居場所、活動の場を確保し、運動や活動に打ち込める環境づくりをしていきます。

高山市では、提言を受けて、地域移行を加速させるために次のようなことを行ってきました。

- ・高山市中体連理事会に参加し説明を行いました。また、そこで、専門委員長に種目ごとに話し合いをしてもらうように依頼をしました。
- ・また、体育協会に出向き、3回に渡って説明をしてきました。
- ・校長会、教頭会での説明。各学校において、管理職から職員及び児童生徒に説明を行いました。
- ・小中学生には、各家庭への資料の配付を行い、高山市民へは広報たかやま2月号への掲載で周知しました。

今後様々な場での広報活動は継続して行っていきます。

高山市では、地域や種目の特性を考慮し、独自の地域移行を検討し進めています。パターンは大きく分けて4つです。

パターンAは、複数の学校が1つになって活動をする「拠点方式の部活動」、パターンBは、学校外の協会や連盟など、地域にあるクラブ活動と学校部活動を選択して活動する方式、パターンCは、「単一校での部活動」つまり今までと同様の部活動、パターンDは、「保護者クラブ」と言われるもので、基本的にはCが母体となります。

各種目についての現在の状況についてですが、柔道、軟式野球、ハンドボールはすでに活動を開始しています。剣道については、2月19日に「高山中学剣道クラブ発足式」を行い、活動をスタートさせました。サッカーについては、令和5年度の中体連後に活動を開始する予定です。陸上、ソフトテニスについては、合同練習という形で一部実施しています。荘川地区では、バドミントンを含め4つの種目で実施しています。また、残りの種目については、今後検討し、地域移行を進めていきます。

令和5年度4月スタート時点状況について、種目及びパターンごとに具体的に説明をいたします。

今までそれぞれの学校にあった部活動を組み合わせ、複数の学校で1つの団体(部)を形成して活動するのがパターンAです。A-1は全市的な拠点方式で、既に柔道は、「高山市柔道部」として令和3年度から活動を行っており、今後も継続して行っています。

A-2では、エリア別の拠点方式をとっており、軟式野球では、日枝・宮・久々野・朝日からなるチームA、中山・東山・清見のチームB、チームCは松倉、チームDが丹生川・国府と、4つに分けて活動しています。なお令和5年度からは、チームCとDが一緒になり、3つになる予定です。北稜中学校については神岡中学校との合同となっています。

例会報告

A-2ではもう1つ、サッカーについて、令和5年度の新チームより、北部の国府・中部の中山・東山、南部の日枝・松倉と3つのチームで合同部活動として活動を行います。この5校以外の支所地域の学校については、どこに所属してもよいこととしました。なお、北稜中学校については、野球と同様に今のところは古川・神岡中と合同となっています。

バスケットボールについては、おなじくパターンA-2の拠点方式として令和5年度中体連後に、部員数等を考慮したうえで、市内に2~3つのチームを編成することを検討中です。

学校外の協会や連盟、地域にあるクラブの活動と学校部活動を選択して活動するのがパターンBです。

B-1は「協会・連盟等のクラブとの選択(併用)方式」です。ハンドボールでは、協会クラブである「グランツ」と学校部活動を選択して活動を行っていきます。剣道では、地域のクラブ「高山市剣道会クラブ」(名前は仮称)として、東西南北4つの拠点に分けて活動を行っていきます。学校の振り分けは東が東山・丹生川・宮、西が松倉・清見・莊川、南が日枝と久々野、北が中山と国府、となっています。

B-2として、「莊川地区」で地域クラブとの選択(併用)方式で活動を行っていきます。バドミントンと剣道は地域のクラブ、卓球は保護者クラブ、陸上は高山旧市内での合同練習を中心として地域クラブとして活動をしていきます。ただし、剣道や陸上については、種目との兼ね合いで変更となる場合もあります。

パターンCでは、まだ地域移行に進んでいない部活動がCに当たります。陸上とソフトテニスについては、基本的には今までと同じように部活動を行います。中山陸上競技場や中山テニスコートを活用して、複数校で合同練習を行うこともあります。バスケットボール、バレーボール、卓球、バドミントンについては、今までと同様に単一校での部活動として行っていきます。パターンCの種目については、現在それぞれの種目において検討を進めており、今後の地域移行への動きで変更となる場合があります。また文化部活動についても運動部活動のパターンCと同様、今までと同様に単一校での部活動として活動をしていきますが、こちらも検討を進めている最中です。

大きな方向性としては、以上となりますが、「練習会場」やその他の詳細については、各種目の顧問や協会等に確認していく必要があります。また、今後も地域移行に向けて、各種目において話し合いや検討会等を重ねていき、段階的に進めていきます。今後も、変更や決定事項があった場合には、その都度子どもたちや保護者等に情報共有していきます。

最後に、地域移行とは別の話にはなるのですが、すでに新聞等でご存知の方も多いと思いますが、令和5年度より、中体連大会に「地域スポーツ団体等」が参加可能となりました。ただし、出場が認められたクラブや団体に限るとあります。しかし、この辺が非常にあいまいな状態です。県でも話し合いを重ね検討を進めているとの事です。以上が令和5年度4月のスタート時点にあたる見込みとなります。

高山市の地域移行の事務局は「高山市教育委員会」です。令和5年度~7年度の期間「改革推進期間」は、地域移行事務局として、中心となって動きます。その後のことは、今後の検討委員会の中で話し合っ

て決定していきます。まだまだ課題はありますが、1つ1つ検討をしていき、令和8年度の地域移行目指し、段階的に進めていきます。ただし、平日の部活動は、今まで通り行うという事をご了解いただきたいと思います。

またこれまで、市では「部活動検討委員会」という名称で検討を行ってききましたが、国や県の方針を受け、令和8年度の地域移行を目指し、令和5年度より、「部活動地域移行検討委員会」と名称を変え、検討を進めていきたいと思っています。2月の検討委員会で承認を得ておりますが、検討課題は、「人」、「もの」、「場所」です。

スポーツ少年団の指導者研修会の際に、陸上の指導者から地域移行において少年団の活用というご意見をいただきました。また、サッカーの4種指導者(少年団)への説明会では、少年団を母体とした地域

移行を将来目指していきたい、といったご意見もありました。このように少しずつ地域が一体となって進められる地域移行の形を目指す思いや動きが出てきています。

今後は、教育委員会と市民活動部が協力し、体育協会や様々な協会や連盟、そして地域の協力も得ながら、高山市の子どもたちにとってよりよい形の地域移行となるように検討し、実現を目指していく、以上が高山市の部活動地域移行に関わる動きとなります。ご清聴ありがとうございました。

<ニコニコボックス>

●垣内 秀文さん、大村 貴之さん

高山市小中学校校長会 中学代表朝日中学校長 中飯田 桂山先生、お忙しい中お越し頂きありがとうございます。卓話をよろしくお願ひ致します。義務教育9カ年皆出席を達成された42名の生徒さん、おめでとうございます。本日は公立校腰受験日、頑張り受験生!

●狹土 貞吉さん

朝日中学校長 校長会中学代表 中飯田 桂山先生のご来訪、心より歓迎致します。卓話楽しみです。コロナ禍で風雪に耐え、九ヶ年皆勤した生徒さんを褒めてあげてください。政府は今、「働き方改革」とかで休め休めと奨励し社会も追従し忍耐力の無い骨抜き人間になりつつあり日本の将来が心配です。娯楽は甘くありません。「艱難辛苦」乗り越えてこそ生きていけるのです。苦あれば楽あり、おかげさま、思いやり、利他の心を養い「強くたくましい、心豊かな」人間教育をお願いします。「皆勤」の凄さは親の膝でもあり、又WBC侍ジャパンに見る武士道精神、人間力です。今後とも継続お願いします。

●井口 大輔さん

今日は朝日中学校長 中飯田先生をお招きしてお話しいただきます。お寺さんとの2足のわらじとの事ですので皆様しっかり聴いていただくをお願いします。また諸般の事情があったとはいえ、担当委員長にも関わらず9カ年会出席表彰をメンバーの皆様に丸投げしてしまいました。申し訳ありませんでした。そして去る2/23クラブ内親睦コンペが日本ラインGCで行われ野尻さんが初優勝!おめでとうございます。

●下屋 勝比古さん、塚本 直人さん

本日次年度理事役員ならびに委員会名簿を皆様にお配りしました。委員長の皆様、快くお引き受けいただきロータリーの友情に感謝申し上げます。しっかり準備いたしますのでよろしくお願い致します。改めてありがとうございます。

●折茂 謙一さん

医療法人同仁会代表である私は2800万円の損害賠償請求事件裁判に巻き込まれていました。反論すべき資料が全然ないのでほぼ勝訴の見込みはありませんでした。示談交渉はほのめかされましたが裁判所は最終的に「本件控訴はいずれも棄却する」との判決を下しました。これは阪下弁護士のご尽力のお陰です。心から感謝いたします。

●田邊 淳さん

結婚記念日に高山グリーンホテルさんのお食事券を頂きありがとうございます。結婚29年目ですが、このまま奥様に捨てられない為に食事券を使わせていただきます。

●下屋 勝比古さん

明日はブラックブルズホーム最終戦です。監督は休養してしまいましたが、最下位にならないよう今期2勝を目指し頑張ります。応援をお願いします。

●岡田 賛三さん、斎藤 章さん、古橋 直彦さん、米澤 久二さん、田中 武さん、遠藤 隆浩さん、門前 庄次郎さん、堺 和信さん、鴻野 幸泰さん、松田 康弘さん、井口 大輔さん、中島 一成さん
3月となり子供達は卒業(別財)のシーズンとなりました。今年度の9カ年皆出席表彰は42名。新しい出遣いをして人としてより大きくなって欲しいですね。